

## ニュースリリース

2021年2月1日

メイワフォーシス株式会社

慶應義塾大学理工学部中央試験所と産学連携

### 慶應義塾大学-メイワフォーシス ナノ粒子計測技術ラボ開設

メイワフォーシス株式会社は、2020年12月22日に慶應義塾大学理工学部中央試験所と、地域産学官共同研究拠点整備事業に関する契約を締結し、2021年2月1日に、「慶應義塾大学-メイワフォーシス ナノ粒子計測技術ラボ」を開設いたしましたことをごお知らせいたします。

当ラボは、慶應義塾大学矢上キャンパス36棟産学官連携棟内に開設し、メイワフォーシス取り扱いの最先端のナノ粒子解析アナライザーラインナップを設置し、高精度かつハイスループットなナノ粒子計測をおこなうことが出来るラボとなっております。

当ラボに設置する「ナノ粒子解析アナライザー」は、近年のライフサイエンス、ナノサイエンス、ナノテクノロジーの研究のために欠かすことのできない、重要なツールの一つです。

その様なツールは、一般的に高額であり、購入までには様々なハードルが存在します。

当ラボの高機能なナノ粒子解析アナライザー各種をご活用いただき、中央試験所の解析技術と強固に連携して、最先端研究の分析をおこなうことが出来ます。

より多くの方にご活用いただき、最先端研究のサポートとなればと考えます。

設置装置は以下です

◎ 「NanoFCM フローナノアナライザー」

“次世代”のナノ粒子分析装置。単一ナノ粒子のサイズや濃度測定のみではなく、同時多色蛍光検出によりナノ粒子のフェノタイピング（表現型）解析することができます。

◎ 「VideoDrop ナノ粒子イメージングアナライザー」

ナノ粒子を光干渉で捕捉し、極微量サンプル量で短時間、簡単操作にて、ナノ粒子径と個数濃度の計測ができる新製品です。

◎ 「qNano ナノ粒子マルチアナライザー」

ナノポアを使い電気抵抗ナノパルス法で、粒子個別にサイズ、個数濃度、チャージの解析が可能です。

◎ 「AFC バイオ粒子オートフラクションコレクター／qEV バイオ粒子抽出キット」

サイズ排除クロマトグラフィー法を用い、超遠心をおこなわずに、短時間で簡便に細胞外小胞（EV）などのバイオ粒子を濾過抽出のできるシステムです。

### 【設立の背景・目的】

近年のライフサイエンス、ナノサイエンス、ナノテクノロジーの研究において、素材を構成する分子や量子、より微細な粒子の多角的な解析が必要不可欠となっております。ウイルスやEVなどのバイオ粒子や、マテリアル粒子、マイクロまたはナノプラスチック、ウルトラファインバブルなど、多くの粒子研究が盛んにおこなわれております。

「ナノ粒子計測技術ラボ」には、メイワフォーシスのラインナップにある最先端のナノ粒子解析装置を設置しております。この設備の装置を、より多くの方にご活用いただき、様々な応用研究の可能性を見出すことが、当ラボ設立の目的となっております。

慶應義塾大学工学部中央試験所には、元々、透過型電子顕微鏡をはじめ、世界最先端のイメージング、分析ツールが設置され、さまざまな研究の発展に活用されております。当ラボの設立により、「慶應義塾大学工学部中央試験所」と「メイワフォーシスのナノ粒子アナライザーラインナップ」の高度な連携により、科学技術で世界をよりよく変革するためのお手伝いをいたします。

本件に対する問い合わせ先  
メイワフォーシス株式会社 本社営業部  
電話：03-5379-0051  
E-mail：[infot@meiwanet.co.jp](mailto:infot@meiwanet.co.jp)

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。